

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年11月22日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 5 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	中央制御室において、「66kV開閉所充電器故障」警報が発生し、現場を確認したところ充電装置A系盤にて「直流地絡」警報の発生が認められたため、地絡調査として一部のケーブルをリフトしたところ地絡を示す警報が消灯した。 当該ケーブルの負荷である起動用開閉所変圧器の中性点接地装置操作箱内の状態を確認したところ、操作箱内に結露が確認されたため、原因調査・対策検討。 なお、結露については拭き取りを実施済み。	GⅢ	11月17日
2	2号機	直流漏電警報器2A-1、2A-3、2B-1の点検において、試験押しボタンスイッチを押しても漏電警報器が動作しないことが認められたため、当該警報器を点検・修理。 なお、漏電発生については各盤に設置している地絡継電器により検知可能であるため、影響はない。	GⅢ	11月17日
3	4号機	コントロール建屋屋上(非管理区域)中央制御室冷凍機(B)廻りのコンクリート床面に油の浮遊(約6リットル)を確認したため、原因調査・対策検討。 消防署へ連絡し、現場確認の結果「危険物の漏えい事故ではない」と判断された。 なお、当該冷凍機からの油漏えい及び冷媒(フロンガス)の検知なしを確認し吸着マットにより当該油の除去を実施。 今後、油浮遊防止対策として、堰の設置を行う。	GⅢ	11月17日
4	3・4号廃棄物処理設備	潤滑油診断作業において、換気空調系廃棄物処理建屋給気ファン(C)軸継手側軸受用エアブリーザー内にフィルターが設置されていないことが認められたため、当該エアブリーザーを交換。	GⅢ	11月16日
5	3・4号廃棄物処理設備	固化系窒素製造装置において、「固化系機器排気フィルタユニット酸素濃度高」警報が発生したことから現場を確認したところ、吸着塔入口側均圧弁及び吸着塔出口側均圧弁が全閉状態のまま動作していないことが認められたため、当該弁を点検・交換。	GⅢ	11月19日